

科目名	健康増進障害予防演習I (検査測定)	担当教員	世古 俊明※ 小川 峻一※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------------------	------	--------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	後期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23ABE	②、③、④					

科目概要	健康増進障害予防概論および理学療法評価・作業療法評価学で学んだ知識を基に、健康増進教室等の予防事業における身体・認知機能評価が行えるように演習する。
学習目標	健康増進やヘルスプロモーションを理解し、対象者に対する身体・認知機能評価が可能となる基礎知識と評価方法を身につける。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論.	健康増進のためのヘルスプロモーション	健康増進のためのヘルスプロモーションと医療面接を理解する。	世古
2	身体機能評価. 1	健康増進のための身体機能評価 (フレイル、サルコペニア)	フレイル、サルコペニアの概念と健康増進教室に於ける評価方法を理解する。	世古
3	身体機能評価. 2	健康増進のための身体機能評価 (ロコモティブシンドローム)	ロコモティブシンドロームの概念と健康増進教室に於ける身体機能評価を理解する。	小川
4	身体機能評価. 3	健康増進のための身体機能評価 (ロコモティブシンドローム)	ロコモティブシンドロームの概念と健康増進教室に於ける評価方法を理解する。	小川
5	認知機能評価. 1	健康増進のための認知機能評価 (MoCA-J、MMSE)	認知機能障害の概念と健康増進教室に於けるMoCA-J、MMSEの評価方法を理解する。	小川
6	認知機能評価. 2	健康増進のための認知機能評価 (MoCA-J、MMSE)	認知機能障害の概念と健康増進教室に於けるMoCA-J、MMSEの評価方法を理解する。	小川
7	身体機能評価. 4	健康増進のための身体機能評価 (骨粗鬆症、脊柱後弯症)	骨粗鬆症、脊柱後弯症の概念と健康増進教室に於ける評価方法を理解する。	世古
8	身体機能評価. 5	健康増進のための身体機能評価 (骨粗鬆症、脊柱後弯症)	骨粗鬆症、脊柱後弯症の概念と健康増進教室に於ける評価方法を理解する。	世古
9	身体機能評価. 6	転倒予防のための身体機能評価	転倒の概念と健康増進教室に於ける転倒リスクの評価方法を理解する。	世古
10	身体機能評価. 7	転倒予防のための身体機能評価	転倒の概念と健康増進教室に於ける転倒リスクの評価方法を理解する。	世古
11	身体機能評価. 8	スポーツ障害予防のための身体機能評価	スポーツ障害予防のための身体機能評価を理解する。	小川
12	身体機能評価. 9	スポーツ障害予防のための身体機能評価	スポーツ障害予防のための身体機能評価を理解する。	小川
13	健康増進と他職種連携. 1	他専門職学生との共同演習	他職種連携について理解する。	世古 小川
14	健康増進と他職種連携. 2	他専門職学生との共同演習	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職の役割を理解する。	世古 小川

15	まとめ.	健康増進のための評価とプログラムのエビデンス	健康増進のための評価とプログラムのエビデンスを整理して理解する。	小川
	評価方法	レポート2回(90%)、授業における応答・態度などの講義への関心度(10%)		
	課題に対するフィードバック	講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
	教科図書	特に指定しない(資料を配布する)。		
	参考図書	伊藤俊一・監修『PT/OTのための測定評価シリーズ MMT』三輪書店、2023年 津山直一・訳『新徒手筋力テスト 原著第10版』協同医書出版、2020年		
	学習の準備	理学療法基礎評価学Iおよび作業療法評価学演習Iで学んだ内容を整理しておくこと(45分)		
	オフィスアワー	月曜日10時~16時、その他在室時はいつでも可		
	担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験			